

経営学部

教育基本方針

甲南大学経営学部では、経営学に関する専門知識および分析能力の教授を通じて、「ヒト・モノ・カネ・情報等からなる組織(企業)の存続・発展のあり方について、自律的な洞察力を有し、社会に貢献するビジネスパーソンの養成」を教育の基本方針とします。

卒業認定・学位授与の方針

甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。経営学部の教育基本方針のもと、卒業必要単位数130単位以上(基礎共通科目又は国際言語文化科目18単位 外国語科目8単位 保健体育科目2単位 専門教育科目102単位以上)を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に学士(経営学)の学位を授与します。

- (1) ビジネスパーソンに必要な社会的協調力と自発的遂行及び倫理的責任力を有しています。
- (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。
- (3) 幅広い教養に裏付けられた経営学の知識・理解力を修得しています。
- (4) 各種スキルと論理的思考力を有し、それに基づいて経営問題の発見・説明・解決力を体得しています。
- (5) 豊かな個性に基づいた社会的貢献力を発揮できます。
- (6) 自己の意見を分かりやすく主体的に説明する能力を有しています。

教育課程編成・実施の方針

経営学部では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質などを修得させるために、基礎共通科目、国際言語文化科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習若しくは実技のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。また、卒業認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系的・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。カリキュラムは、各科目において学生が修得したGPA及び、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を集計し、その集計値を検証することにより見直し・改善を行います。教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。

1)教育内容

- (1) 初年次では、経営学を学ぶための前提となる知識を得るとともに、経営学部の学びの基礎を形成するため、少人数クラスで、プレゼンテーション能力や表現力を鍛える基礎的な科目を選択必修科目として配置します。
- (2) 外国語によるコミュニケーション能力や異文化理解について学ぶ科目、心身両面の健康に対する配慮を学ぶ科目、情報を読み解く力について学ぶ科目を配置します。
- (3) 全学共通科目である、建学の理念と専攻分野以外の領域を含む幅広い基礎的な知識を学ぶ基礎共通科目、異文化理解について学ぶ国際言語文化科目を配置します。
- (4) 1・2年次には、簿記やビジネス英語のようなビジネスマンとして必要なスキルを学ぶ科目を配置します。
- (5) 経営戦略、経営組織、財務会計、管理会計、マーケティング、ファイナンス、並びに、国際化の7つの領域に関して、それぞれの学生が専門領域を選んで体系的に学びを深められるようにするため、年次進行に合わせて段階的に高度化する本格的な専門科目を配置します。
- (6) 問題発見・解決能力などの社会人としての基礎力を育成するため、2年次から卒業時まで続く、少人数クラスによる専門演習科目を配置します。また専門演習での指導に基づき、卒業時には卒業研究(卒業論文)により、在学中に学んだことを集大成します。
- (7) スペシャリストとしての能力とゼネラリストとしての視野を養うため、意欲を持った学生を対象としてビジネスリーダー養成プログラム(ビジネス・プロフェッション・コース/グローバル・ビジネス・コース/アカウンティング・プラクティス・コース)を設定します。
- (8) 各自の天賦の特性と専攻分野に関する知識を社会でどのように生かしていくのかを考えるとともに、社会で活用できる力を身につけるため、キャリア教育並びにキャリア形成支援を1年次から4年次まで継続的に実施します。

2)教育方法

- (1) 1)に掲げた教育内容を身につけるために、講義、演習により又は併用により授業を実施します。
- (2) 論理的思考力、伝えたい内容を適切に表現し伝達する能力、問題解決力を養成するとともに、他者と協調・協働し、自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観について学ぶために、学生一人ひとりの顔がわかる少人数で学生参加型の実習、演習などを重視したクラス編成を行います。
- (3) 授業の実施においては、考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどを中心としたアクティブ・ラーニングを積極的に活用します。
- (4) 成績評価をGPAで表示するとともに、学位プログラムごとの到達目標と各科目の関係を明確にし、知識・能力の習得状況を学修ポートフォリオを通じて学生にフィードバックします。

3)学修成果の評価

学生の学修成果についての評価方法を各科目のシラバスで示し、その方法に従って評価します。

到達目標		対応する卒業認定・学位授与の方針の番号
A	幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を視る目を養う。	(3)
B	経営学を学ぶにあたって必要となる基礎的な考え方や分析手法を習得する。	(3)
C	企業組織の仕組みやその背後の論理を学び、ビジネスパーソンにとって必要な知識や洞察力を得る。(経営学)	(3)(4)
D	会計の原則とその背後の論理を学び、企業会計を理解し、実践する力を身につける。(会計学)	(3)(4)
E	企業と市場との関係を理解し、それに基づいて企業経営を洞察できる能力を培う。(商学)	(3)(4)
F	企業経営の国際化とそれにとまなう諸問題を理解し、その解決のための能力を養う。	(3)
G	社会の一員として働くことの意識を高め、社会的貢献ができるべく、キャリア形成のための基礎を形成する。	(1)(2)(5)
H	課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す、自律的洞察力を培う。	(2)(6)
I	さまざまな情報源から適切な情報を収集し、それを有益に活用する能力を養う。	(4)(6)
J	社会人に必要なコミュニケーション能力を身につける。	(1)(5)

経営学科 専門教育科目表

[2018年度(平成30年度)の入学生に適用]

授業科目名		単位数	配当年次	到達目標										
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
④	基礎科目	基礎演習	4	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		経営学総論	4	1	○	○	○				○	○	○	
		会計学総論	4	1	○	○		○			○	○	○	
		マーケティング総論	4	1	○	○			○		○	○	○	
		経済学入門	2	1	○	○			○					
		ファイナンス入門	2	1	○	○		○	○					
		入門簿記	4	1		○		○			○		○	
		簿記演習	2	1		○		○			○		○	
④以上のうち18単位以上選択必修														
⑤	基礎専門科目	経営管理論	4	2		○	○			○				
		経営戦略論	4	2		○	○			○				
		財務諸表論	4	2		○		○					○	
		原価計算	4	2		○	○	○					○	
		商学基礎論	4	2		○	○		○					
		統計学入門	4	2	○	○							○	
		情報処理概論	4	2		○					○		○	
		グローバル・コミュニケーションⅠ	4	2	○	○				○	○	○	○	○
		グローバル・コミュニケーションⅡ	4	2	○	○				○	○	○	○	○
⑤以上のうち20単位以上選択必修														
⑥	経営学系統	経営史	4	2	○	○	○							
		経営学史	4	2	○	○	○							
		経営財務論	4	2		○	○		○					
		経営労務論	4	2		○	○				○			
		経営組織論	4	2		○	○				○			
		工業経営論	4	2		○	○			○				
		国際経営論	4	2		○	○			○				
		アジア経営論	4	2		○	○			○				
		国際ビジネス事情	4	2		○	○			○				
		ベンチャービジネス	4	2		○	○				○			
		経営科学	4	2		○	○						○	
		ビジネスシステム論	4	2		○	○						○	
		中小企業論	4	2	○	○	○							
		環境経営論	4	2	○	○	○							
		非営利組織論	4	2	○	○	○							
		会計学系統	管理会計	4	2		○	○	○					○
	監査論		4	2		○	○	○						
	情報会計システム論		4	2		○		○					○	
	税務会計		4	2		○		○					○	
	国際会計論		4	2		○		○		○				
	財務諸表分析		4	2		○		○	○				○	
	会計史		4	2	○	○		○						
	企業会計理論		4	2		○		○					○	
	商学系統	マーケティング管理論	4	2		○	○		○					
		国際マーケティング論	4	2		○			○	○				
		消費者行動論	4	2	○	○			○					
		流通システム論	4	2		○	○		○					
		金融論	4	2		○			○	○				
		証券論	4	2		○			○	○				
		リスクマネジメント	4	2		○	○		○					
	演習	専門演習Ⅰ	2	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		専門演習Ⅱ	8	3・4		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		実践的経営シミュレーション演習	4	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥以上のうち50単位以上選択必修														

授業科目名		単位数	配当年次	到達目標										
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
教職	職業指導Ⅰ	2	3	○							○			○
	職業指導Ⅱ	2	3	○							○			○
	人文地理Ⅰ	2	2	○										
	人文地理Ⅱ	2	2	○										
	自然地理学	2	2	○										
	日本史概説Ⅰ	2	2	○										
	日本史概説Ⅱ	2	2	○										
	アジア史概説Ⅰ	2	2	○										
	アジア史概説Ⅱ	2	2	○										
	西洋史概説Ⅰ	2	2	○										
	西洋史概説Ⅱ	2	2	○										
	政治学入門	2	2	○										
	政治学原論	2	2	○										
	法律学概論	2	2	○										

卒業必要単位数 102単位以上

【卒業必要単位数】

1. 経営学部経営学科の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上を修得しなければならない。

基礎共通科目または国際言語文化科目		18単位
外国語科目		8単位
保健体育科目		2単位
専門教育科目		102単位以上
選択必修科目	①より	18単位以上
	②より	20単位以上
	③より	50単位以上
自由選択科目		
合計		130単位以上

2. 2年次にビジネス・リーダー養成プログラムに所属した場合はビジネス・リーダー養成プログラムの専門教育科目の単位も上記1に含まれる。

3. 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、選択必修の単位数に充てることができない。

- (1) 中級外国語、上級外国語および海外語学講座の単位をあわせて8単位以内(ただし、国際言語文化科目を選択した者が履修するコース中の外国語科目の中級外国語を除く)
- (2) 文学部英語英米文学科「English Studies I～Ⅷ」から、8単位以内
- (3) 生涯スポーツについては、2単位以内
- (4) 「IT応用」の2単位
- (5) 「エリアスタディーズ I～X」については、4単位以内
- (6) 「地域ファシリテイト」、「地域プロジェクトⅠ」、「地域プロジェクトⅡ」については、6単位以内

ビジネス・リーダー養成プログラム
(BPコース・GBコース・APコース)

専門教育科目表

[2018年度(平成30年度)の入学生に適用]

授業科目名	単位数	配当年次	到達目標										
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
B P コ ー ス 科 目	BPコース特論Ⅰ	2	2		○					○	○	○	○
	BPコース特論Ⅱ	2	2		○					○	○	○	○
	BPコース特論Ⅲ	2	3		○					○	○	○	○
	BP経営分析	4	2		○		○					○	
	BP社会調査法	2	2	○	○					○	○	○	
	BP演習Ⅰ	2	2		○					○	○	○	○
	BP演習Ⅱa	2	3		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BP演習Ⅱb	2	3		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BP演習Ⅲ	4	4		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BP特別演習	4	4		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BPインターンシップⅠ	6	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BPインターンシップⅡ	6	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BPインターンシップⅢ	6	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BP経営コンサルティング論	4	3	○	○					○	○	○	○
以上BPコース◎選択必修													
G B コ ー ス 科 目	GBビジネス特論Ⅰ	2	2		○					○	○	○	○
	GBビジネス特論Ⅱ	2	2		○					○	○	○	○
	GBコースTOEFL・IELTSⅠ	2	2		○					○			○
	GBコースTOEFL・IELTSⅡ	2	2		○					○			○
	GBコースTOEFL・IELTSⅢ	2	2		○					○			○
	GBコースTOEFL・IELTSⅣ	2	2		○					○			○
	GBビジネス英語Ⅰ	2	2		○					○			○
	GBビジネス英語Ⅱ	2	2		○					○			○
	GBビジネス英会話・初級	4	2		○					○			○
	GBビジネス英会話・上級	4	2		○					○			○
	GB外書講読Ⅰ	4	2		○	○	○	○	○	○			
	GB外書講読Ⅱ	4	2		○	○	○	○	○	○			
	GBコースドイツ語会話Ⅰ	2	2							○			○
	GBコースドイツ語会話Ⅱ	2	2							○			○
	GBコースフランス語会話Ⅰ	2	2							○			○
	GBコースフランス語会話Ⅱ	2	2							○			○
	GBコース中国語会話Ⅰ	2	2							○			○
	GBコース中国語会話Ⅱ	2	2							○			○
	GBコース韓国語会話Ⅰ	2	2							○			○
	GBコース韓国語会話Ⅱ	2	2							○			○
GB国際アクティビティーⅠ	2	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GB国際アクティビティーⅡ	2	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GB国際アクティビティーⅢ	2	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
以上GBコース◎選択必修													

授業科目名		単位数	配当年次	到達目標									
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
A P コ ー ス 科 目	APアカウントティング・プラクティス基礎a	4	2		○		○			○		○	
	APアカウントティング・プラクティス基礎b	4	2		○		○			○		○	
	APアカウントティング・プラクティス基礎c	4	2		○		○			○		○	
	APアカウントティング・プラクティス基礎d	4	2		○		○			○		○	
	AP経営コンサルティング論	4	3	○	○					○	○	○	○
	上級簿記 I	2	2		○		○			○		○	
	上級簿記 II	2	2		○		○			○		○	
	上級財務諸表論 I	2	2		○		○			○		○	
	上級財務諸表論 II	2	2		○		○			○		○	
	上級工業簿記	2	2		○	○	○			○		○	
	上級原価計算	2	2		○	○	○	○		○		○	
	入門パーソナルファイナンス	2	2	○	○				○		○		
	応用パーソナルファイナンス	2	2		○					○		○	
以上APコース◎選択必修													

※BPコースとAPコースの併願及び両属を認める。ただし、BPコースとAPコースの両属になった場合は、BPインターンシップに参加しなければならない。